

## 南アフリカ共和国への渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年4月28日（継続/内容の更新）

<p>ヨハネスブルグ市、ツワネ市（旧プレトリア市）及びダーバン市の各CBD（CENTRAL BUSINESS DISTRICT）並びにその周辺</p> <p>レベル2：不要不急の渡航は止めて下さい。（継続）</p> <p>※CBDは、以前企業のオフィスが集積するビジネス地区でしたが、現在は治安の悪化が顕著であり、一見賑わいを見せていましたが、現地人もみだりに近づかない場所となっています。</p> <p>※CBDの具体的な場所は、安全の手引き（南アフリカ共和国） (<a href="https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html">https://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/safety_guidance.html</a>)付属資料を参照ください。</p>	<p>〔レベル2〕 「不要不急の渡航は止めて下さい。」（継続）</p>
<p>上記を除くその他全土</p>	<p>〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続）</p>

## 【ポイント】

- 各都市のCBDでは銃器を使用した強盗が多発しており、特にヨハネスブルグ、ツワネ（旧プレトリア）、ダーバンの各都市では、日本人旅行者も首絞め強盗の被害に遭っています。当該地区への立ち入りはできる限り避け、やむを得ず立ち入る場合は昼夜を問わず徒歩での移動は控えてください。
- 南アフリカでは、電気・水道・教育等の基礎行政サービス供給が不足しており、停電や断水なども発生し、各家庭の生活にも影響が出ています。

## 1 概況

- (1) 2024年5月に行われた総選挙により初めて過半数割れとなったアフリカ民族会議（ANC）が、民主連合（DA）等との連立政権である国民統合政府（GNU）を樹立し、経済低迷を背景とした高い犯罪率に対する治安対策においても困難な舵取りを迫られている現状にあります。
- (2) 南アフリカにおける所得格差は依然として大きく、失業率は30%以上となっています。電気・水道・教育等の基礎行政サービスの供給が非常に不足しており、同サービスが改善されないことや昨今の燃料費・物価の高騰に対する国民の不満が依然として解消されていない状況にあります。2021年7月にズマ前大統領の収監に対する抗議行動を契機に、ダーバンの大型ショッピングモール等で略奪が同時に多発的に発生し、治安情勢が悪化しました。また、一部のタウンシップでは、薬物等も蔓延しているといわれており、リスクが極めて高い場所となっています。
- (3) 2024年10月～同年12月の犯罪統計によれば、殺人、強盗、傷害等の凶悪犯罪の発生件数は187,892件（前年同期比-1.6%）と、依然として引き続き、高水準で発生しています。世界的に見ても、南アフリカは一般犯罪が最も多い国の一つとされています。殺人の発生率や強盗の発生状況は深刻で、カージャックや住宅侵入強盗の発生は、日本人にとって大きな脅威となっているほか、車上ねらいや置き引きといった窃盗事件も数多く発生しています。特に携帯機器を悪用した詐欺等については、前年比8.9%増と急増しています。これまでに在留邦人や他国外交団に関連する被害例も数多く報告されており、これらの多くは銀行員や市職員、警察官等の役職を名乗り、相手を信頼させて金銭をだまし取る犯行です。ヨハネスブルグ、ツワネ（旧プレトリア）及びダーバン等の各地区都市のCBDでは銃器を使用した強盗が多発し、犯罪手口は凶悪です。また、周辺諸国からの不法移民を含む貧困層の流入、外国人を含む組織化された犯罪シンジケートによる活動、大量の銃器の不正流通などが依然として続いている、さらに、犯罪を取り締まるべき警察官による不適切な対応も後を絶ちません。誘拐事案も増加しており、多くは、強盗、性的犯罪、カージャックを目的としたものです。
- (4) 2022年10月には、米国大使館が、ヨハネスブルグ・サントン地区において、多くの人々が集まる場所を標的にしたテロが計画されている可能性があると注意喚起を行いました。南アフリカでは、爆弾テロのような重大なテロ事案は発生していないものの、イスラム過激派組織の資金や物資の調達拠点として利用されているとされており、注意が必要です。

このように、テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロの被害に遭わないよう、海外安全ホームページや報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。テロ情報の詳細については、テロ・誘拐情勢（[https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror\\_122.html](https://www.anzen.mofa.go.jp/info/pcterror_122.html)）も参照ください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、  
外務省海外安全ホームページ : <http://www.anzen.mofa.go.jp>  
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください  
 または、  
 外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903  
 外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306  
 外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047  
 までお問い合わせください。